

Voice...5

2026



top 「危険物取扱者の方々に向けて」

消防庁危険物保安室長 加藤晃一

こだま 「本校の危険物取扱者試験の取り組み」

長崎県立大村工業高等学校

支部の広場

山梨県支部からお届け



「消太」



表紙によせて 山梨県支部からお届け



さくらんぼ狩り / 表紙上段

栽培地の南限とされる山梨県では、糖度の高い「佐藤錦」や甘味と酸味のバランスが程よい「高砂」など、個性豊かな品種が勢ぞろいしています。

5月中旬からの収穫期には、もぎたてならではの弾けるような爽やかな甘さを求め、全国から多くの方がさくらんぼ狩りに訪れます。[山梨観光キャラバン隊長「武田菱丸」]

桃狩り / 表紙下段

長い日照時間、盆地特有の昼夜の大きな寒暖差、水はけの良い扇状地など、果樹栽培に適した環境に恵まれた山梨県は、桃の生産量日本一を誇る名産地です。

6月下旬から8月下旬まで様々な品種が次々と収穫期を迎え、色鮮やかで香り高い桃が実ります。香り漂う桃畑で、もぎたての硬い桃を皮ごとかじる山梨ならではの味を楽しめます。

①fumotto(フモット) 南アルプス(南アルプス市)

fumotto南アルプスは、コストコ南アルプス倉庫の隣にある、「遊べる・食べる・買える」の全てが楽しめる注目の体験型複合施設です。広大な敷地内は、MOUNTAIN BASE、LOCAL BASE、FARM BASEの3つのエリアに分かれ、山梨の魅力を存分に満喫できるショップや飲食店などが軒を連ねます。毎週末にはイベントも開催され、南アルプス市を訪れた際には、ぜひ立ち寄りしたいスポットです。

②小江戸甲府「花小路」(甲府市)

甲府城の城下町を現代風に再現した「小江戸甲府花小路」。灯籠や石畳の路地など、江戸時代を感じさせる建物に令和の感覚を取り入れた存在感のある町並みには山梨の産業や食材を活かした店舗や飲食店がならび、甲府ならではの魅力を堪能できます。

③ワイナリー(峡東エリア)

峡東地域は地形や気候がブドウ栽培に適しており、現在では約60ものワイナリーが集まる国内随一のワイン産地へと発展しました。甲州ブドウから作られる甲州ワインは国内外で高い評価を得ており、各ワイナリーではブドウ作りから丹精込めた醸造が行われています。ワイナリーで、テロワールや醸造家のこだわりを感じながら、個性豊かなワインをお楽しみいただけます。

④道の駅にしじま和紙の里かみすきパーク(身延町)

450年以上の歴史を誇る「西嶋和紙」の産地、西嶋にある「かみすきパーク」は、身延町の魅力がぎゅっと詰まった体験型のテーマパークです。和紙づくりや書道体験が楽しめる「かみすき館」、地元食材を購入・味わえる「たべもの館」、イベントや遊具で遊べる「ふれあい館」の3施設で構成され、子どもから大人までお楽しみいただけます。

002

top

危険物取扱者の方々に向けて
消防庁危険物保安室長
加藤 晃一

004

こだま

本校の危険物取扱者試験の取り組み
長崎県立大村工業高等学校 化学工学科
実習助手 徳永 大晟

006

合格体験記

長崎県立長崎工業高等学校
機械科 2年
中嶋 優太

008

支部の広場

山梨県支部からお届け

010

業務情報

令和8年度事業計画及び収支予算

014

チャレンジ!乙種危険物取扱者

(第10回)『第4類の危険物』について

015

topic

016

業務報告

2・3月の試験実施結果・免状作成状況

5 Voice...

消防試験研究センターだより

2026 May vol.415



一方、近年、風水害、地震等自然災害に起因する危険物施設の事故も散見されるようになりました。平成30年7月の豪雨では、西日本特に岡山県を中心に河川の氾濫や洪水、土砂災害などの被害が発生し、多数の死者が生じました。この豪雨災害において、岡山県総社市のアルミ工場（一般取扱所）では、溶解したアルミニウムに大量の水が接触し、水蒸気爆発が発生しております。また、令和元年8月の記録的な大雨では、佐賀県で河川の氾濫が起り、鉄工所（一般取扱所）から敷地外に大量の油が流出しております。このように、地震対策のみならず、これまであまり重要視されていなかった風水害による事故の対策についても検討する必要があります。

2 最近の危険物行政の動向

①セルフ給油取扱所でのAI活用について

各分野において、デジタル技術の活用が進んでおりますが、危険物施設の保安対策において、これらの技術の活用が期待されております。現在、セルフ給油取扱所では、顧客が計量機を用いて自ら給油を行う際に、危険物取扱者がバックヤードの制御卓を用いて安全管理を行っております。この安全管理について、その一部を機械が代替することのできる消防法令の基準改正を行いました。

具体的に、消防法令の基準に合った条件付自動制御装置を導入したセルフ給油取扱所では、この制御装置が人の代わりに安全管理を行うことができるとするものです。「条件付き」としていることから、すべての行為の監視を機械に任せることはできず、機械が安全か否かを判断できない場合は、危険物取扱者を呼び、その危険物取扱者が映像等を確認し、「制御卓を操作する、または、事態の対応を行う仕組み」にしております。

今回の基準改正により、従業員の業務負担が減ることが期待されます。

②令和7年度の危険物施設に関する技術基準等の検討

消防庁では、令和7年度も危険物施設の技術基準に関する様々な検討を進めております。

ア バイオエタノールの導入拡大に関する検討

令和7年2月に政府において「エネルギー基本計画」が発表されました。この中で、自動車のガソリン燃料について、「2030年度までに一部地域で

ガソリンへの直接混合を含めたバイオエタノールの導入拡大により、最大濃度10%の低炭素ガソリン（E10）の供給開始を目指す」「2040年度から最大濃度20%の低炭素ガソリン（E20）の供給開始を追求する」との方針が示されました。

そこで、消防庁では、バイオエタノール含有ガソリンに対する安全対策の検討を始めたところです。

イ 泡消火薬剤に関する検討

これまで、危険物施設の泡消火設備で利用されている泡消火薬剤は、フッ素化合物（PFAS）を含有したものを主に用いております。しかし、フッ素化合物の難分解性や生物蓄積性といった性質が人の健康を害するおそれがあることから、国際的に環境規制が強化され、日本においてもPFOS、PFOA等一部のフッ素化合物が規制の対象となっております。

そこで、セルフ給油取扱所のパッケージ型泡消火設備に用いる泡消火薬剤について、フッ素化合物（PFAS）を用いない泡消火薬剤に置き換えるための検討を行いました。今後、PFASを含有しない泡消火薬剤の活用を進めていきたいと思っております。

ウ その他

上記以外に、デジタル技術を危険物施設の安全管理にできるだけ活用できるよう、「可燃性の蒸気の滞留するおそれのある場所（屋内の製造所等）の明確化」に関する検討、「危険物規制に係る手続きの合理化」に関する検討も行いました。これらについても、とりまとまった報告書をふまえ、今後の危険物施設の安全管理に活かしていきたいと思っております。

3 危険物取扱者に期待すること

危険物取扱者の皆様におかれては、危険物を取扱うに当り、自らが負傷するなど危険な状況に置かれる可能性があることも念頭に置き、取り扱う危険物はどのような性質を持っているものか、それを取り扱うにあたり必要な安全対策はとられているかなど、しっかり確認を行った上で、作業を行っていただきたいと思っております。

また、危険物施設での安全な危険物の取扱い方法を検討し決定している方々、装置や機器を設計されている方々についても、事故防止を第一に考え、危険物の性質を十分把握したうえで安全対策をしっかり行っていただくようお願いします。



長崎県立大村工業高等学校

本校の危険物取扱者試験の取り組み

徳永 大晟(とくなが たいせい)

長崎県立大村工業高等学校

化学工学科 実習助手

1 学校の沿革

本校は、長崎県大村市森園町にある県立工業高校で、昭和37年に開校しました。当初は全日制3学科(機械科・電気科・化学工学科)を設置し、工業教育を始めました。その後、昭和38年に建設工業科を新設。学科数を拡大しました。昭和60年に電子工学科を新設し、工業教育の分野を広げました。平成8年に建築科を新設。建築分野の専門教育を開始しました。平成21年に機械システム科を新設し、学科数が現在の7学科となりました。

学校は「技術者たる前にまず人間たれ」という校訓のもと、工業技術教育と人間教育の両立をめざして発展させてきています。

2 学科紹介

〈機械科〉(定員 2クラス 80人)

基礎から実践まで幅広い機械技術を学べる専門教育が特徴で、ものづくり現場で即戦力となるスキルを身に付けられる学科です。安全教育を重視しながら、工具・工作機械・測定などのものづくりの基本技術を段階的に習得します。取得可能な資格では、計算技術検定、製図検定、機械系技能検定(旋盤2、3級など)といった資格を取得することが出来ます。

〈機械システム科〉(定員 1クラス 40人)

自動化された生産システムに対応できる機械技術者の育成を目標にしています。機械そのものの知識だけでなく、電子・情報・制御の基礎も学ぶことで、現代の工業現場に求められる「機械を動かす・制御する技術」を身に付けられる学科です。また、機械の基本に加えて、ロボットや機械装置を動かす制御技術、生産ラインの自動化技術、センサー・プログラミングの基礎など、機械が「自ら動く仕組み」を学べるカリキュラムが特徴です。

〈電気科〉(定員 1クラス 40人)

電気理論(電気の仕組み)や電気工事、情報技術など幅広く学び、社会で役立つ電気技術者を重視し、就職や進路に直結する学習が中心です。抵抗・電流・電圧・電力などの関係や回路計算を理解する授業や、モーター・発電機・変圧器などの電気機器の原理・構造・特性などを学びます。資格取得では、第二種電気工事士・第一種電気工事士の資格取得をめざす補習や授業を実施しています。

〈電子工学科〉(定員 1クラス 40人)

電子・電気・通信・制御・情報技術を幅広く学び、実習と資格取得を通して即戦力となる力を育てる学科です。実際に工具や基板を使い、抵抗・LED・スイッチなどを組んで動かす学習や電子回路図・設計図の読み書き、測定器の使い方を学ぶ実習も行っています。

〈建築科〉(定員 1クラス 40人)

建築分野の専門技術と知識を身に付けられる専門学科で、将来の建築技術者や施工管理者を目指す生徒向けの実践的なカリキュラムが特徴です。木材加工・測量・建築CAD・3D-CAD・鉄筋加工・コンクリート試験・足場の組立解体など、多様な実習を行います。学外の現場見学やインターンシップで、実際の建築現場を体験する機会もあります。また、2級建築施工管理技術検定や建築CAD検定などの資格取得にも力を入れています。

〈建設工業科〉(定員 1クラス 40人)

土木構造物(道路・橋・河川・造成などの社会基盤)の施工や管理に関わる技術者を育てるのが特徴です。土工事の基礎工程(掘削・整地・路盤施工など)の学習や型枠組立・解体実習をし、ブルドーザーなどの建設機械の運転・操作なども実習で行います。取得可能な資格として、2級

土木施工管理技術検定(学科)や測量士補、小型車両系建設機械運転技能を取得することができます。

〈化学工学科〉(定員 1クラス 40人)

化学物質の性質や反応の仕組みといった化学の基礎知識を身に付けたうえで、実際の化学工業プロセス(化学プラントの運転・設計)に必要な理論・技術を学びます。実習では化学反応や物質の取り扱い、実験測定、設備・装置の操作といった幅広い実習を行っております。また、危険物取扱者試験(乙種1~6類)の他、高圧ガス製造保安責任者(乙種)という難関資格の取得も出来ます。

3 取得可能な資格・検定

本校では、各学科で専門技術の学習と合わせて在学中にさまざまな国家資格や検定試験を受験・取得することができます。資格取得に熱心に取り組む生徒が多く、第一種電気工事士資格試験において、高校日本一となる合格者(61人)を達成することもありました。令和7年度は、多くの生徒がジュニアマイスター顕彰において表彰され、学校表彰をいただくことができました。

・国家資格：

- 危険物取扱者(甲種・乙種・丙種)
- 電気工事士(第一種・第二種)
- 各種技能検定、など

・検定試験：

- 計算技術検定
- 情報技術検定
- パソコン利用技術検定
- 初級CAD検定、など

4 部活動

資格試験だけでなく、部活動も盛んです。多くの生徒が文武両道を目指して日々活動しています。

- ・運動部：陸上、ソフトテニス、バレーボール、バスケットボール、野球、サッカー、ソフトボール、アーチェリー、など
- ・文化部：美術、吹奏楽、ロボット、新聞、e-スポーツ
- ・専門部：機械、電気、電子、建築、建設、化学

特に、ソフトボール部は今年度の全国高等学校総合体育大会で見事優勝という結果を残しました。他にもバレーボール部やアーチェリー部も全国大会に出場して好成績を残しています。



5 危険物取扱者試験に向けた取組み

本校では、1年次の11月に乙種4類の受験を推奨しています。乙種4類を取得した後は、他の類に挑戦し最終的には甲種の取得を目指しています。6月の試験は高総体後というものもあり、特に部活動をやっている生徒は受験が難しくなっています。早朝補習や放課後補習の時間を使って危険物取扱者試験の学習を行い、限られた時間の中で問題を解く力を身に付けさせます。1年生の時から様々な資格を取得し、その時の達成感を味わってもらい、自ら挑戦出来るように職員間で話し合いや情報共有を大切にしています。

過去3年間の学校全体の受験状況

		甲種	乙1	乙2	乙3	乙4	乙5	乙6	丙種
R5	受験者	0	3	0	6	288	2	6	2
	合格者	0	3	0	6	60	2	3	0
	合格率	0.0	100.0	0.0	100.0	20.8	100.0	50.0	0.0
R6	受験者	1	3	5	21	321	16	28	5
	合格者	0	1	2	12	64	9	16	2
	合格率	0.0	33.3	40.0	57.1	19.9	56.3	57.1	40.0
R7	受験者	6	4	8	10	220	8	6	0
	合格者	1	4	6	7	57	2	4	0
	合格率	16.7	100.0	75.0	70.0	25.9	25.0	66.7	0.0

6 終わりに

資格取得は、就職する際に大きな武器となります。特に履歴書に書ける国家資格があると、専門知識・安全知識を証明でき、会社では即戦力として期待されます。これからも危険物取扱者試験をはじめとする様々な資格に生徒がチャレンジできるような環境を作っていき、生徒のバックアップに努めていきたいと思ひます。

合格 記



中嶋 優太 なかしま ゆうた
長崎県立長崎工業高等学校
機械科 2年

甲種危険物取扱者合格までの道のり

1. 受験のきっかけ

私は中学生の頃から工業高校に興味がありました。工業高校にはジュニアマイスターという全国の工業系学科に在籍する生徒が目的を持って意欲的に学習に取り組み、身につけた知識・技術・技能を評価する制度があります。この制度は、取得した資格や合格した検定試験及び各種競技・コンクール等での優秀な成績等を得点に換算し、認定を行うというもので、私は、ぜひその中の最高ランクである特別表彰というものに挑戦してみたいと思っていました。

そして、工業高校に無事入学をし、さまざまな難関資格に挑戦することにしました。インターネットで調べると、私が化学に対して興味があったこともあり、目に留まったのがこの危険物取扱者試験でした。また、その当時は高校生になったら、アルバイトをしようと思っていた私にとって、取得すると資格手当が発生するこの資格は、まさに最適でした。(もっとも私の高校は長期休暇以外のアルバイトは残念ながら禁止だったので…)

2. 乙種4類への挑戦

最初の受験となった乙種第4類は、初めて挑戦した資格であったため、自分なりの勉強方法がまだ確立しておらず、学習の進め方に大変苦労しました。そこで私は、まず購入した参考書をすみずみまで読み直し、試験範囲の全体像や重要概念をしっかりと把握することから取り組みを始めました。しかし、いまいち効果がなく、参考書を読むだけでは知識の定着が不十分で、

期待していたほどの成果は得られませんでした。次に私は、より知識を定着させるために行ったことは暗記カードを自作し、学習方法を変えることにしました。カードの表には過去問を一問ずつ書き、裏には答えを記入し、それらをひたすら繰り返し覚えるという方法でした。しかし、このやり方では、単語や答えを覚えることはできても、内容を深く理解するまでには至りませんでした。

このため私は方針を切り替え、試験の出題傾向をつかむために過去5年分の問題演習に取り組みました。しかし、原因分析や苦手分野の補強が不十分だったため、知識が表面的にとどまり、応用できず点数の伸びにはつながりませんでした。そして、次に試した方法は、過去問を繰り返し解き、理解が不十分な箇所は解説に印を付けて整理しました。また、「対数」や「mol」など曖昧な専門用語は生成AIで確認し、エビングハウスの忘却曲線を意識した復習法を取り入れることで、危険物への理解を深めていきました。すると、理解が一気に深まり、点数も飛躍的に向上して安定するようになりました。この手応えから、私はこの学習方法を本格的に採用し、無事乙種第4類に合格することができました。

3. 甲種取得まで

分類ごとの共通点を理解することで危険物全体の関係性が見え、理解が深まり、乙種第3類・5類・6類も効率よく学習して取得することができました。甲種試験では、他の種別と比べて扱う内容が格段に深く、そ



機械工作部の活動

の為乙種とは比べ物にならないほどの化学、物理に対する理解が要求されました。試験勉強を初めてすぐの頃は静電気や複雑な化学法則などの何度参考書を読んでも全く理解できない分野もありましたが、それでも「どうせ挑戦するなら、しっかり理解して合格したい」という思いから、理解できない部分は一度要素ごとに分解してノートにまとめ、ときには基礎に戻って化学反応式を見直したり計算問題を繰り返し解いたりしながら、少しずつ理解を積み重ねていきました。

大変ではありましたが、学べば学ぶほど危険物の特性が繋がって理解できるようになり、最終的にはその積み重ねが自信につながったのだと思います。試験当日は試験開始ギリギリまで参考書を読み込み、全問解答後も気を抜かず、試験終了まで見直しを続けました。正直、「ここまでやる必要があるのか」と思う瞬間もありましたが、この“あきらめの悪さ”こそが、結果的に合格へつながったのだと感じています。最後の見直しで気づいたミスもいくつかあり、粘り強く取り組む大切さを改めて実感しました。

4. これから受験する人へ

甲種を受験するにあたって痛感したのは、「芯から理解していないと合格できない」ということです。試験では、一見すると見たことのないような問題に出会うこともありました。しかし、基礎からしっかり理解

していたおかげで、自分の中に蓄えた知識を組み合わせながら答えを導き出すことができました。結果として、表面的な暗記に頼るよりも、時間をかけて“芯から理解する”ことこそが、一周回って合格への近道だったと感じています。

資格取得を振り返ってみると、ひとつの目標に本気で打ち込む時間を持てたことが、何よりも貴重な経験だったと感じています。特に、甲種危険物取扱者という難関国家資格に合格できたことは、大きな達成感と自信につながりました。勉強の過程で得た知識や、最後まで諦めずに取り組む姿勢は、今後の学びや仕事にも必ず活かされるはずです。今回の挑戦は、私自身の成長を実感できる、かけがえのない経験でした。





支部の広場

山梨県支部からお届け

1. はじめに(山梨県の概要)

山梨県は、日本列島のほぼ中央に位置し、東京都、神奈川県、静岡県、長野県、埼玉県に囲まれた海のない内陸県です。総面積は4,465km²で、日本の総面積の100分の1です。中心部の甲府盆地を除いて平地部は極めて少なく、総面積の86%が山地となっており、周囲を急峻な山々に囲まれています。

県の人口は、787,592人(R7.2.1 現在)で、平成12年をピークに減少が続いています。

産業は戦前から戦後は農業が主要でしたが、高度成長期以降、東京圏に近いことから中央高速道路の開通後、企業誘致によりエレクトロニクスを中心とした企業立地が促進されました。また、本県の果樹は農業生産の額の5割以上を占め、ブドウ、モモ、スモモは全国一の生産量を誇っています。他にも山梨県の日本一は貴金属で、指輪やネックレスなど研磨宝飾製品の出荷額が日本一。富士山や南アルプスなどの伏流水から製造されるミネラルウォーターの生産量も日本一となっています。

2. 支部の状況

当支部はJR中央本線甲府駅から西へ徒歩約15分、民間自動車学校(いわゆる「教習所」)が所有する一戸建ての木造住宅を借り受け営業しています。目の前には「四輪車専用コース」や「自動二輪車専用コース」、また、「フォークリフト屋内コース」などがあり、日々、賑やかな教習風景が展開されています。

支部を訪れるお客様は、戸建て住宅の玄関ドアを引き開け、三畳ほどの土間空間に身を置き、必要な手続きを申し込まれます。

支部職員は支部長と職員2名の3名体制です。職員間の情報共有や疑問相談など丁寧な意思疎通を心掛けながら、日々の業務に対応しています。

3. 試験業務の概要

【総括事項】

危険物取扱者の申請者数を例に挙げますと、総じて減少傾向が続いており、特に高校生の減少が顕著になっていま

す。工業高校等卒業生の多くが就職先とする地元企業様を対象に山梨県支部が過去(令和4年度)に実施したアンケート調査によりますと、企業が高校等に期待している事を聞いたところ、「危険物取扱者資格の取得促進や意識付け」との回答が83.3パーセントを占め、企業側は「高校生が危険物取扱者資格を取得すること」に大きな期待を寄せている様子がわかりました。更に、自社(企業)への就職を希望する高校生に対し取得を望む資格種類は何か聞いたところ、「乙種第4類が望ましい」との回答が57.1パーセント、「乙種(複数類)が望ましい」との回答が42.9パーセントを占めました。なお、企業として危険物取扱者を確保するにあたって困っている事は何か聞いたところ「危険物取扱者試験の合格率が低い」が42.8パーセント、「入社希望者に危険物取扱者資格を有する人が少ない」が28.6パーセントとの答えがありました。

少なくともアンケートにお答えいただいた企業様には「多くの従業員に資格を取得してほしい」「有資格者を採用したい」といった意向がみとれ、「申請者数の伸びしろはまだまだある」とも思いましたが、県人口78万人余といった規模感や東京圏への転出超過といった最近の状況を勘案いたしますと、危険物取扱者試験等の申請者数は現状の水準で落ち着いた動きに留まるものと推量しています。

【危険物取扱者試験の実施状況】

危険物取扱者試験につきましては、一般試験として

第1回 6~7月中の1日間 甲府会場①(午前・午後)・
甲府会場②(午前・午後)

第2回 6~7月中の1日間 都留会場(午前)

第3回 10~11月中の1日間 甲府会場①(午前・午後)・
甲府会場②(午前・午後)

第4回 10~11月中の1日間 都留会場(午前)

第5回 翌年3月中の1日間 甲府会場①(午前・午後)・
甲府会場②(午前・午後)

を年度の基本形として、また、高校等を対象とした特定試験を年度3回程度実施しています。

なお、過去5年度間の申請者数の推移については「表1」に掲載いたしました。

【消防設備士試験の実施状況】

第1回 8月中の1日間 甲府会場①(午前・午後)

表1 危険物取扱者試験受験申請者数の推移【山梨県支部】(単位:人)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
甲種	120	114	113	85	50
乙種	2084	1935	1913	1900	1270
うち乙種第4類	1683	1645	1590	1574	1083
丙種	189	208	196	138	94
合計	2393	2257	2222	2123	1414
うち高校生	491	435	401	338	187
比率(%)	20.5	19.3	18.0	15.9	13.2
うち電子申請	777	860	931	1158	911
比率(%)	32.5	38.1	41.9	54.5	64.4

※令和7年度は、令和8年2月までの数値。

表2 消防設備士試験受験申請者数の推移【山梨県支部】(単位:人)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
甲特	9	3	7	4	5
甲種(甲特除く)	185	163	173	191	208
乙種	204	192	201	200	231
合計	398	358	381	395	444
うち電子申請	141	151	163	286	352
比率(%)	35.4	42.2	42.8	72.4	79.3

第2回 翌年2月中の1日間 甲府会場①(午前・午後)
を年度の基本形として実施しています。

なお、過去5年度間の申請者数の推移については「表2」に掲載いたしました。

【免状業務の概要】

免状の交付件数の推移は「表3」に掲載いたしましたが、全体的には減少傾向にあります。

支部では、写真書換えの速やかな申請をお願いするため、免状交付から10年を経過したお客様を対象に、(一例を挙げますと)令和7年8月7日付けで1,165通(危険物取扱者1,095通・消防設備士70通)の「写真書換えのお知らせハガキ」を発送したところ、累計で、発送から1か月後では123人(危険物取扱者120人・消防設備士3人)、2か月後では253人(危険物取扱者239人・消防設備士14人)のお客様が書換えの手続きをとられました。

なお、山梨県では、令和7年12月末をもって「山梨県収入証紙」が廃止され、令和8年1月から危険物取扱者(消防設備士)免状の交付・書換え・再交付に係る申請手数料の支払方法が変わりました。具体的には、例えば危険物取扱者免状の写真書換えを希望するお客様は、山梨県支部等のホームページから「納付連絡票(支払い用のバーコード)」を

表3 免状交付件数の推移【山梨県支部】(単位:件)

区分	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
危険物取扱者	新規	824	726	714	605	594
	写真	852	834	874	887	751
	本籍等	14	12	6	5	7
	再交付	70	68	66	78	68
	計	1,760	1,640	1,660	1,575	1,420
消防設備士	新規	115	92	108	93	117
	写真	94	60	104	74	95
	本籍等	0	2	1	0	0
	再交付	3	5	3	1	12
	計	212	159	216	168	224
合計	1,972	1,799	1,876	1,743	1,644	

※令和7年度は、令和8年2月までの数値。

入手し、次に、県庁や県内各地域の県合同庁舎等に設置された収納窓口(専用レジ)で手数料を支払い、受け取った「納付済証」を申請書に貼付提出する手続きになりました。当初はお客様から「証紙に代わるものは何?」「支払はどこですか?」など、様々なご質問をいただきましたが、日数を経るうちに「新しい支払方法」が馴染み始め、収入証紙からの移行は順調に進んでいます。

○ 4. おわりに

山梨県支部は「富士見通り」「やまなみ通り」という名称の道路に挟まれており「富士見通り」からはその名の通り、甲府盆地を取り囲む山並みの向こう側に「富士山」のお姿が見えます。パソコンで「富士山、見える、都道府県」と検索してみると、静岡・神奈川・東京・千葉・長野・山梨の都県等が示され、条件が良ければ、福島・栃木・新潟・岐阜・三重・和歌山の各県等からも見えたことがある旨の書き込みがありました。山梨県は世界遺産の富士山をはじめ、南アルプスや八ヶ岳などの山岳景観や美しい渓谷が点在し、移り変わる四季や良質な水を有する「水と緑の宝庫」とも言われています。支部職員は、そのような恵まれた自然環境に包まれ、県庁・県内各消防本部・消防試験研究センター本部をはじめ関係団体のご理解ご協力に支えられ、日々の業務を進めております。この紙面をおかりし感謝申し上げます。締めくくりとさせていただきます。

業務情報

令和8年度 事業計画及び 収支予算書

一般財団法人 消防試験研究センターは、令和8年度にかかる事業を行うにあたり、事業計画及び収支予算書を作成し、それらについて、当センター定款及び消防法等の関係法令に基づき認可等を受けましたので、その内容を掲載します。

令和8年度事業計画

1 試験事業

- (1) 危険物取扱者試験を全都道府県で実施する。

試験の種類	甲種	乙種	丙種	合計
試験実施予定回数	400回	3,200回	400回	4,000回
受験申請者見込み	23,800人	301,900人	20,300人	346,000人

- (2) 消防設備士試験を全都道府県で実施する。

試験の種類	甲種	乙種	合計
試験実施予定回数	800回	900回	1,700回
受験申請者見込み	59,000人	59,000人	118,000人

- (3) 予防技術検定を全都道府県で実施する。

年1回・全都道府県同一日(12月実施予定)に実施し、受験申請者見込みは6,500人

- (4) 危険物取扱者及び消防設備士試験のインターネットによる電子申請の利用促進を図る。

電子申請者数(令和7年4月～令和7年12月の実績)は、受験申請者数の72.3%(危険物取扱者試験は68.9%、消防設備士試験は83.2%)

- (5) 支部試験実施状況調査を4支部において実施する。

2 免状事業

- (1) 都道府県知事の委託を受け、次の業務を実施する。

ア 新規、書換え(写真書換えを含む。)及び再交付免状の作成

イ 写真書換え未了者へのお知らせ

- (2) 都道府県の要請を受けて、免状データベースに講習履歴情報を収録する。

免状作成等の事務処理件数見込み

(単位:件)

区分	新規交付	書換え		再交付	合計
		写真	写真以外		
危険物取扱者	117,900	96,100	1,800	10,000	225,800
消防設備士	30,200	12,100	300	800	43,400
合計	148,100	108,200	2,100	10,800	269,200

※書換え(「写真」以外)については、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数

3 企画研究事業

(1) 業務情報システムについて

システムの円滑な稼働に努めるとともに、令和7年度に実施した「個人情報の漏えいに係る再発防止検討委員会」の検討結果（令和7年3月）に基づく改修及び試験手数料支払い手段の多様化等を踏まえ、引き続き利用者の利便性の向上や業務の効率化に向けた検討を進める。

(2) 調査研究事業について

免状交付申請事務のデジタル化について、規制改革実施計画（令和4年6月7日閣議決定^{*1}）及び令和7年の地方からの提案等に関する対応方針（令和7年12月23日閣議決定^{*2}）を踏まえ、消防庁及び都道府県等と連携しながら必要な検討等を行う。

※1 同実施計画において「危険物取扱者免状のデジタル化の実現等を検討し、オンライン化及びオンライン利用率の引上げに向け、可能なものから順次必要な措置を講ずる。」とされている。

※2 同対応方針において「危険物取扱者及び消防設備士の免状の交付等（13条の2及び17条の7）に係る手続については、国家資格等情報連携・活用システムの活用を含め、免状の交付事務の更なる効率化及び国民の利便性向上を図る観点から、都道府県の意見を踏まえつつ、具体的な方策等について検討し、令和8年度中に結論を得る。その結果に基づいて必要な措置を講ずる。」とされている。

(3) 受験促進事業及び感謝状の贈呈について

ア 平成28年度から実施してきた「受験しやすい環境づくりモデル事業」等の成果を踏まえ、各支部等における状況を考慮した取り組みを推進する。

イ 各支部等の状況を踏まえつつ、危険物取扱者や消防設備士の資格取得に積極的に取り組まれている高等学校、高等専門学校、大学、専修学校及びその指導教諭、事業所並びにその資格取得支援担当者等に対して、その尽力をたたえ表彰する。

(4) 個人情報保護及び情報セキュリティ体制について

令和7年度に見直しを行った個人情報保護及び情報セキュリティに関する基本方針等に基づき、個人情報取扱事業者として、個人情報の厳格な取扱い、管理・監督の更なる徹底を図るとともに、業務情報システム及び事務管理システムのセキュリティの確保・向上に努める。

(5) 広報事業について

ア 資格制度に関する広報

「試験・検定のご案内パンフレット」の他、広報ターゲットを明確にした「大学生及び高等学校生向け受験促進パンフレット」、「資格試験広報ポスター」、「写真書換え啓発ポスター」を作成するとともに、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、事業所、都道府県及び消防機関等に配布し資格制度の周知を図る。

また、各種イベントでの広報や消防関係専門誌・教育関連の新聞等に広報記事を掲載することにより、資格取得や免状書換え等の周知を図る。

イ 広報誌「消防試験研究センターだよりVoice.」の発行

危険物施設等に係る災害事故等の防災対策の研究成果や現状、防火防災に関する取組等について経験者や研究者による解説並びに受験合格者による体験談等を掲載し、誌面の充実に努める。

また、高等学校、高等専門学校、大学、専修学校、事業所、都道府県及び消防機関等に配布するとともに、当センターのホームページにも掲載する。

ウ ホームページの活用と継続的改善

当センターのホームページでは、電子申請や試験・検定、各種広報等の情報について、利用者の視点に立って提供しているところであり、さらに使い勝手、提供情報等の継続的な改善と充実を図っていく。

- ① 電子申請機能の提供
- ② 試験実施日程、受験案内等の試験関連情報の提供
- ③ 合格者受験番号の掲示
- ④ 試験実施等に係る緊急情報の掲示
- ⑤ 過去に出題された問題の公開
- ⑥ 免状交付申請、写真書換え等の免状関連情報の提供
- ⑦ その他広報情報等の提供・発信

(6) 統計について

「令和7年度版危険物取扱者・消防設備士 試験・免状統計表」を作成し、消防庁及び都道府県等に配布する。

4 その他事業

- (1) 危険物取扱者試験における問題誤り等を踏まえ、試験問題の検討・確認プロセスの充実及び事務局体制の強化を行う。
- (2) 支部(実地)監査を10支部で実施する。
- (3) 消防防災推進事業助成を86事業に対して行う。
- (4) 試験業務及び免状業務の円滑かつ適切な執行を図るため、全国支部長会議を東京で開催するとともに、全国6か所でブロック支部長会議を開催する。
- (5) 心理的安全性の高いチームづくり(風通しの良い職場、ハラスメントのない職場)の推進に資するため、管理職員向け及び職員向けのハラスメント研修をそれぞれ実施する。

令和8年度収支予算書

令和8年4月1日から令和9年3月31日まで

(単位:千円)

科目	予算額	前年度予算額	増減
I 事業活動収支の部			
1 事業活動収入			
① 基本財産運用収入	15,300	11,500	3,800
② 特定資産運用収入	50	50	0
③ 試験手数料収入	2,548,600	2,518,600	30,000
④ 免状受託料収入	464,000	470,500	△ 6,500
⑤ 雑収入	53,250	51,150	2,100
事業活動収入計	3,081,200	3,051,800	29,400
2 事業活動支出			
① 試験事業費支出	2,531,900	2,410,400	121,500
② 免状事業費支出	593,800	553,600	40,200
③ 管理費支出	122,700	112,100	10,600
④ 業務情報システム撤去支出	0	9,300	△ 9,300
事業活動支出計	3,248,400	3,085,400	163,000
事業活動収支差額	△ 167,200	△ 33,600	△ 133,600
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
① 特定資産取崩収入	81,500	475,400	△ 393,900
投資活動収入計	81,500	475,400	△ 393,900
2 投資活動支出			
① 特定資産取得支出	41,600	51,000	△ 9,400
② 固定資産取得支出	59,500	413,500	△ 354,000
③ 敷金・保証金支出	0	1,100	△ 1,100
投資活動支出計	101,100	465,600	△ 364,500
投資活動収支差額	△ 19,600	9,800	△ 29,400
III 予備費支出	20,000	20,000	0
当期収支差額	△ 206,800	△ 43,800	△ 163,000
前期繰越収支差額	1,240,000	990,000	250,000
次期繰越収支差額	1,033,200	946,200	87,000

※一部勘定科目について集約しています。

チャレンジ! 乙種危険物取扱者(第10回)

— 用語の解説 —

『第4類の危険物』について

第4類の危険物は、消防法で規定される物品で、引火性液体の性状を有するものです。

ここでいう引火性液体とは、法令で定められた引火点測定試験において引火点を有するものを指します。以下に第4類の危険物に共通する特性の代表的なものを示します。

1 引火性を有する。

いずれも引火性の液体で、その蒸気は空気との混合物をつくります。その混合割合が一定の範囲(燃焼範囲(爆発範囲))内にあると、火気等により引火又は爆発の危険があります。この範囲での危険物の可燃性蒸気の濃度が最小のものを燃焼(爆発)下限界、最大のものを燃焼(爆発)上限界といいます。

2 蒸気比重が1より大きい。

蒸気比重が1より大きいので、その蒸気は低所に滞留し、又は流れます。このため、離れた場所にある火源も引火する危険性があります。

3 比重が1より小さく、水に溶けないものが多い。

比重が1より小さいものも多く、アルコール類などを除いて水に溶けません。このため、流出した場合は、水の表面に広がり、火災となった場合は火災範囲が大きくなります。

4 電気の不良導体である。

電気の不良導体であるものも多く、静電気が蓄積されやすい性質があります。静電気が放電するときの火花で引火することがあるため、取り扱う際は、配管やホース等を接地するなど発生した静電気を除去する措置を講じる必要があります。

※ 本解説は、実際の試験問題との関連は一切ありません。また、当センターにおいては本解説を含め問題・解答に関する質問や考え方等についてのお問い合わせはお受けしていません。

危険物取扱者試験・消防設備士試験

のお申し込みは

電子(インターネット)申請で!

いつでもどこでも

- ✓ 24時間いつでも
- ✓ ネット環境があればどこでも



パソコンでもスマホでも



ワンストップで

- ✓ 各種キャッシュレス対応
- ✓ 必要書類もネットで登録



簡単・スピーディ

- ✓ 郵送・手書き不要
- ✓ 申請状況もネットで確認



まずは ● 消防試験研究センターのホームページへ

- ✓ すべての試験種類で電子申請ができます。
- ✓ 試験案内の閲覧、印刷もできます。

簡単便利な電子申請をご利用ください



お知らせ

◆令和7年度感謝状の贈呈について

一般財団法人消防試験研究センターでは、危険物取扱者の資格取得に積極的に取り組み、大きなご功績をいただいている学校や事業所、熱意をもった指導者の皆様に感謝状を贈呈いたしております。

令和7年度は次の35組織の学校、事業所及び2名の指導者に当センターの各支部の支部長等を通じて感謝状を伝達しました。

都道府県	贈呈学校・事業所・指導者（敬称略）
北海道	北海道北見工業高等学校
岩手県	岩手県立大船渡東高等学校
宮城県	宮城県白石工業高等学校 教諭 阿部北斗
山形県	山形県立鶴岡工業高等学校
福島県	福島県立修明高等学校
茨城県	茨城県立水戸工業高等学校
栃木県	株式会社ブリヂストン栃木工場
群馬県	群馬県立高崎工業高等学校
群馬県	群馬県立前橋工業高等学校
群馬県	群馬県立富岡実業高等学校
東京都	東京都立北豊島工科高等学校
新潟県	新潟県立長岡工業高等学校
長野県	長野県木曾青峰高等学校
岐阜県	岐阜県立多治見工業高等学校
愛知県	東海国立大学機構名古屋大学 教授 富田賢吾
愛知県	東海工業専門学校 熱田校
三重県	三重県立四日市工業高等学校
三重県	三重県立伊勢工業高等学校
京都府	京都府立福知山高等技術専門学校
京都府	京都府立桂高等学校
京都府	京都府立木津高等学校
大阪府	大阪府立夕陽丘高等職業技術専門学校
大阪府	学校法人ホンダ学園 ホンダテクニカルカレッジ関西
大阪府	学校法人岡崎学園 大阪自動車整備専門学校
大阪府	学校法人重里学園 日本分析化学専門学校
兵庫県	神戸市立科学技術高等学校
奈良県	奈良県立御所実業高等学校
和歌山県	和歌山県立紀北工業高等学校
岡山県	おかやま山陽高等学校
山口県	山口県立下関工科高等学校
徳島県	徳島工業短期大学
愛媛県	愛媛県立今治工業高等学校
高知県	高知県立高知工業高等学校
佐賀県	佐賀県立唐津工業高等学校
宮崎県	ヤマエ食品工業株式会社
鹿児島県	鹿児島県立奄美高等学校
沖縄県	沖縄県立中部農林高等学校

業務報告

2月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率
甲種	2,811	971	34.5%
乙種第1類	815	537	65.9%
乙種第2類	958	656	68.5%
乙種第3類	1,077	693	64.3%
乙種第4類	29,398	9,482	32.3%
乙種第5類	1,135	702	61.9%
乙種第6類	1,087	729	67.1%
乙種計	34,470	12,799	37.1%
丙種	2,440	1,067	43.7%
合計	39,721	14,837	37.4%

□危険物取扱者試験実施支部等

北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島、茨城、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、富山、石川、福井、長野、岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山、島根、岡山、広島、山口、徳島、福岡、佐賀、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率
甲種特類	247	73	29.6%
甲種第1類	1,345	385	28.6%
甲種第2類	652	199	30.5%
甲種第3類	667	252	37.8%
甲種第4類	2,713	935	34.5%
甲種第5類	656	295	45%
甲種計	6,280	2,139	34.1%
乙種第1類	342	110	32.2%
乙種第2類	109	32	29.4%
乙種第3類	160	40	25%
乙種第4類	1,552	533	34.3%
乙種第5類	173	84	48.6%
乙種第6類	5,052	1,608	31.8%
乙種第7類	1,036	679	65.5%
乙種計	8,424	3,086	36.6%
合計	14,704	5,225	35.5%

□消防設備士試験実施支部等

北海道、青森、岩手、宮城、福島、茨城、栃木、埼玉、千葉、東京、石川、福井、山梨、愛知、大阪、兵庫、広島、長崎

2月中の免状作成状況

(単位：件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	5,749	101,303	2,247	28,374	7,996	129,677
本籍等の書換え	139	1,587	17	287	156	1,874
写真書換え	6,758	98,982	881	12,176	7,639	111,158
再交付	741	9,104	46	729	787	9,833
計	13,387	210,976	3,191	41,566	16,578	252,542

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

3月の試験実施結果

■危険物取扱者試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率
甲種	2,107	728	34.6%
乙種第1類	708	472	66.7%
乙種第2類	711	461	64.8%
乙種第3類	889	582	65.5%
乙種第4類	20,716	7,068	34.1%
乙種第5類	977	631	64.6%
乙種第6類	964	685	71.1%
乙種計	24,965	9,899	39.7%
丙種	975	515	52.8%
合計	28,047	11,142	39.7%

□危険物取扱者試験実施支部等

北海道、青森、岩手、宮城、茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、石川、福井、山梨、愛知、滋賀、兵庫、奈良、鳥取、島根、広島、山口、香川、福岡、長崎、熊本

■消防設備士試験

試験種類	受験者(人)	合格者(人)	合格率
甲種特類	139	30	21.6%
甲種第1類	1,862	500	26.9%
甲種第2類	455	125	27.5%
甲種第3類	424	145	34.2%
甲種第4類	3,331	1,090	32.7%
甲種第5類	441	192	43.5%
甲種計	6,652	2,082	31.3%
乙種第1類	266	64	24.1%
乙種第2類	94	28	29.8%
乙種第3類	103	30	29.1%
乙種第4類	1,036	354	34.2%
乙種第5類	169	85	50.3%
乙種第6類	4,615	1,925	41.7%
乙種第7類	671	441	65.7%
乙種計	6,954	2,927	42.1%
合計	13,606	5,009	36.8%

□消防設備士試験実施支部等

北海道、秋田、福島、東京、神奈川、新潟、石川、岐阜、三重、京都、大阪、佐賀、熊本、沖縄

3月中の免状作成状況

(単位：件)

	危険物取扱者免状		消防設備士免状		合計	
		本年度累計		本年度累計		本年度累計
新規免状交付	13,507	114,810	3,864	32,238	17,371	147,048
本籍等の書換え	128	1,715	28	315	156	2,030
写真書換え	6,736	105,718	760	12,936	7,496	118,654
再交付	671	9,775	50	779	721	10,554
計	21,042	232,018	4,702	46,268	25,744	278,286

※ 免状交付申請等の受付件数を計上しています。

※ 本籍等の書換えについては、新規交付、再交付又は写真書換えとの同時申請分を除いた件数を計上しています。

◆試験日程については、当センターホームページ (<https://www.shoubo-shiken.or.jp>) をご参照ください。

Voice...

編集後記

2026 May

既に新年度が始まり、この号が出る頃は5月下旬ですが、蒸し暑い日々が続いていると思います。最近の気候は、冬から春を飛び越えていきなり夏!という感じでしょうか。ちょうど良い気候の時期は少ないですね。

私事ですが、この4月に消防試験研究センターに着任し、Voiceを担当することになりました。雑誌を担当するのは初めてですが、皆様にわかりやすい原稿をお届けできたらと思っています。

私が所属する企画研究部は、業務情報システム、OA機器の整備・管理、調査研究事業、広報事業(このVoiceを含む)、個人情報保護や情報セキュリティ対策等の業務を担当しています。

企画研究部の業務だけでなく当センターが実施する業務を通じて、危険物取扱者試験や消防設備士試験に合格された皆様方によって、地域の安全・安心が守られていくことを切に願っています。

都道府県
後援：総務省消防庁

立ち止まらない。
プロは常に進化する。

10年目で 免状書換

誇り高きプロの証明。免状更新で、あなたの誇りも「最新」にアップデート。

中島ひとみ
NAKAJIMA Hitomi
陸上競技選手

危険物 取扱者

危険物取扱者免状見本			
氏名	消防 太郎	本籍	神奈川県
生年月日	昭和62年10月5日	本籍	神奈川県
種別		交付年月日	
乙種1類		交付番号	
乙種2類		交付年月日	
乙種3類	H28.04.01	00300	東京
乙種4類			
乙種5類			
乙種6類			
元 号			
免状の更新又は 平成30年 4月1日まで 2804 1700 2947			
印			

消 防 設備士

消防設備士免状見本			
氏名	消防 花子	本籍	神奈川県
生年月日	昭和62年10月5日	本籍	神奈川県
種別		交付年月日	
乙種1種		交付番号	
乙種2種		交付年月日	
乙種3種	H28.04.01	10400	東京
乙種4種			
乙種5種			
乙種6種			
元 号			
免状の更新又は 平成30年 4月1日まで 2804 1700 2947			
印			

免状に記されている写真の書換え期日を過ぎている方は
速やかに更新手続きを行ってください。



消防試験研究センターだより

Voice...

vol.415 令和8年5月発行

編集・発行

一般財団法人消防試験研究センター

〒100-0013 東京都千代田区霞が関一丁目4番2号 大同生命霞が関ビル19階

TEL.050(3803)9272(企画研究部) / FAX.03(5511)2751

ホームページ <https://www.shoubo-shiken.or.jp/>

